

<参考文献>

久保快也(1987)チョウのはなし I 技報堂出版株式会社・東京

兵庫県赤穂市の蝶類補足

唐土 洋一

兵庫県赤穂市の蝶類としては、岩村 巖(1979)により9科73種が報告されている。その後、新たに追加されたものを以下に記しておく。

アゲハチョウ科 1種

ミヤマカラスアゲハ 1♀ 1981.9.30

赤穂市周世 唐土洋一……文献 4)

同上 1♀ 1996.10 赤穂市有年牟礼 唐土洋一

タテハチョウ科 1種

オオムラサキ - データなし

赤穂市有年横尾 ……文献 5)

同上 越冬幼虫 5頭 確認 1995.11.26

赤穂市東有年 唐土洋一

イシガケチョウ 1ex. 目撃 1979.7.16

赤穂市坂越(大泊) 橋田和則……文献 7)

同上 1♀ 1994.10.16 赤穂市周世 唐土洋一
文献 6)

シジミチョウ科 1種

ムラサキツバメ 1♀ 1981.9.5 赤穂市周世
唐土洋一……文献 3)

同上 若齢幼虫2頭確認 1996.8.31 赤穂市
周世 唐土洋一

従って、赤穂市より記録された蝶は4種追加され9科77種となった。

<参考文献>

- 1) 岩村 巖(1968)西播の蝶分布資料(5) 赤相の蝶類 兵庫生物5(5):386-397
- 2) 岩村 巖(1979)西播の蝶分布資料(6) 赤穂市の蝶類 ひろおび(4):1-9
- 3) 唐土洋一(1981)西播におけるムラサキツバメ

の新産地 てんとうむし(7):19

- 4) 唐土洋一(1982)西播のミヤマカラスアゲハ採集例 てんとうむし(8):49
- 5) 広畑政巳(1987)兵庫県産蝶類分布資料(4) てんとうむし11-22
- 6) 難波通孝(1994)"1994"イシガケチョウの飛翔 自刊・岡山
- 7) 大貝秀雄(1995)赤相地区の蝶3種の記録 姫路昆虫同好会結成20周年記念-てんとうむし特別号「遊蟲千年」:60-61

ヒメアカタテハの食草について

唐土 洋一

【観察例1】

相生市若狭野町下土井の小河川沿いに生育しているカラムシ葉上より、アカタテハと思われる終令幼虫を2頭採集した。自宅にて、カラムシを与え飼育したところ、ヒメアカタテハが羽化(1♀, 1996.8.6)してきた。

<参考>1996.8.8 アカタテハ 1♀羽化

従来、ヒメアカタテハの食草としては、ヨモギが広く知られている。今回、見い出された幼虫は、アカタテハに混じっていた。

【観察例2】

1996.8.31 相生市若狭野町八洞の県道沿いに生えているヨモギに産卵している雌を見つけた。手づかみしテイッシュでくるみ持って帰り、ヨモギに産卵(9月1日)させた。孵化後カラムシ(相生市佐方産)を与え10頭ばかり飼育したところ、9月24日1♂をかわぎりに次々と羽化していった。

<参考文献>

- 1) 近藤伸一(1984)兵庫県におけるヒメアカタテハについて ひろおび(7):1-14
- 2) 福田晴夫他(1983)原色日本蝶類生態図鑑(II) 保育社・大阪